

国際第2委員会 活動紹介

1. 活動方針

- ・ 欧州/アフリカの特許権取得/活用、PCT制度の調査/研究と会員への情報提供
- ・ 政策プロジェクトとの連携による国際調査和に向けた調査・検討、意見発信

2. 活動対象地域： 重要地域が目白押し！

- ・ 経済連携/広域特許の先駆者 欧州 (UPC/EPC/各国)
- ・ 利用率急上昇中 WIPO (PCT)
- ・ 次はここだ！時代を先取り アフリカ (広域/各国)

3. これまでの活動実績 (一部のみ紹介)

◆対内情報発信 (実務に役立つ情報を会員に発信)

2012年度：PCT出願の国際段階における補正等手続の有効性

2013年度：ロシア調査団報告

◆対外情報発信

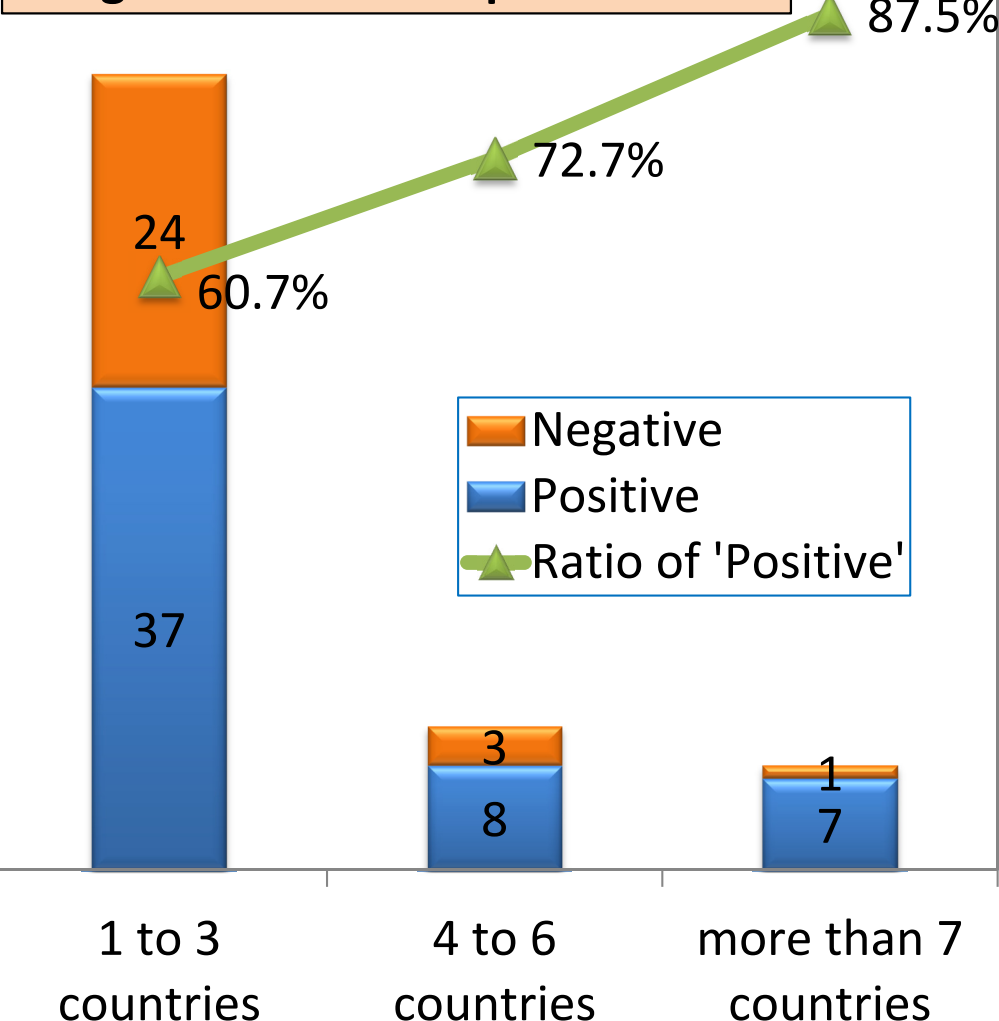
《WIPO会合》 PCT-WG@ジュネーブ 《三極会合/五極会合》 各国にて開催。

《パフコメ》 欧州統一裁判所 規則案

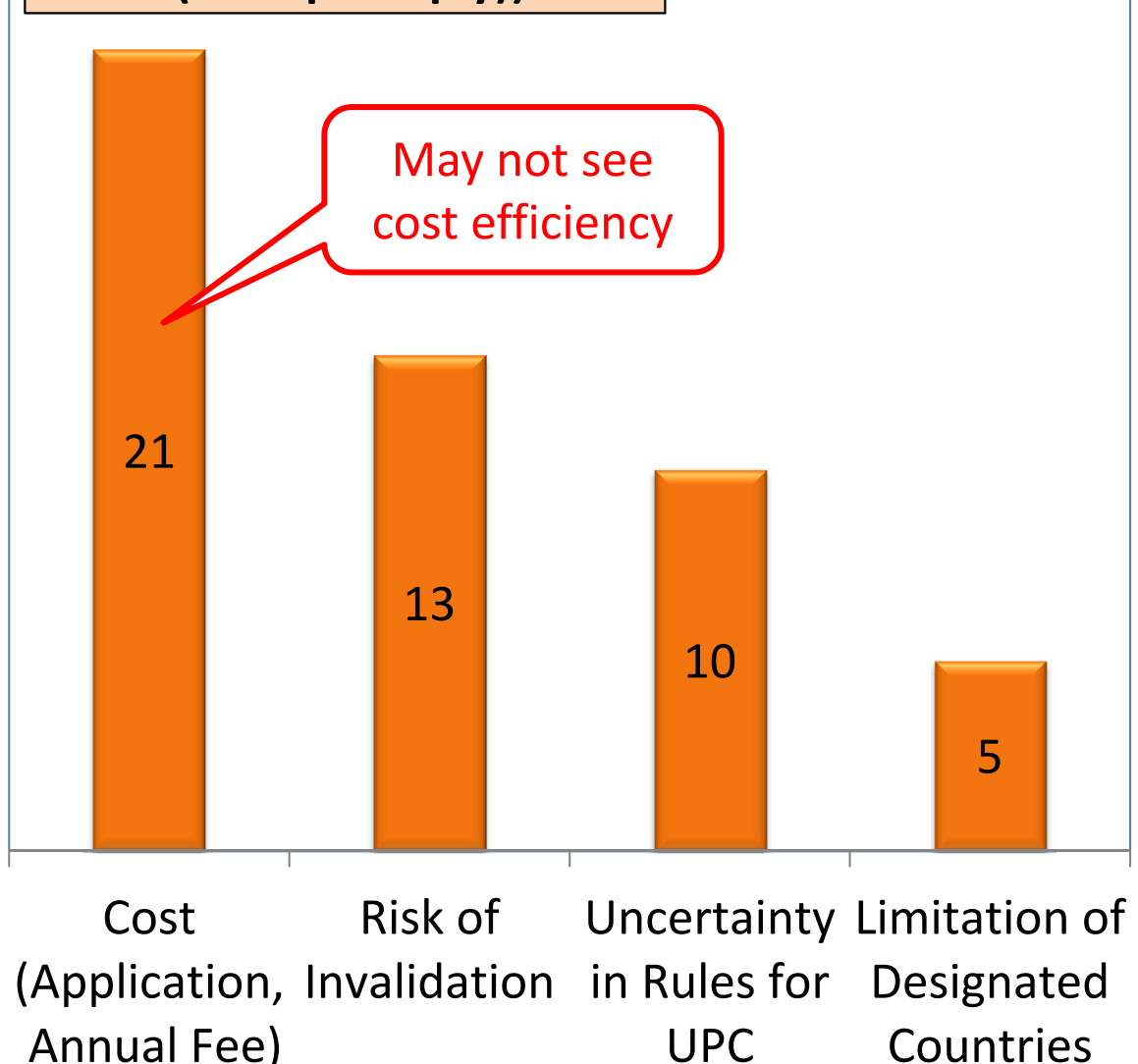
2013年度調査結果の一部を紹介します

Interest in European Unitary Patent to Japanese Company

Intention on using Unitary Patent according to average number of designated countries per invention



Concern for Unitary Patent (Target : 'Negative' Company (multiple reply))



国際第2委員会 第1小委員会

「欧州単一特許・統一特許裁判所の活用調査研究」

狙い： 日本ユーザ視点から欧州単一特許・統一特許裁判所の両制度をどのように活用すべきか調査研究し、問題点や在り方について提言や意見発信を行っていく。

内容：

- 1) 欧州統一特許裁判所準備委員会の手続き規則案に対するパブコメ作成
- 2) 欧州単一特許・統一特許裁判所の調査研究
 - ① 日本企業アンケート実施
 - ② 調査研究した内容を知財管理誌へ投稿(予定)

国際第2委員会 第2小委員会

「EPOの審査での口頭審理についての調査・研究」

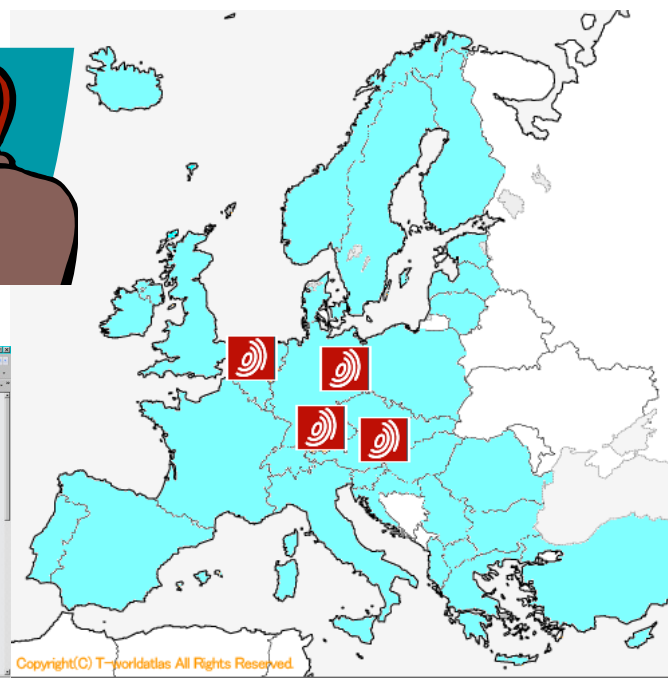
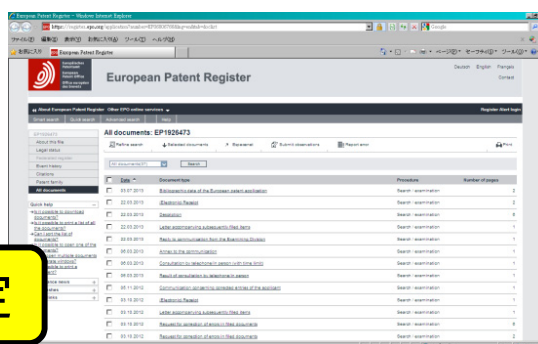
◆活動内容

EPOでは、審査段階で口頭審理が行われる。
口頭審理の前後に出願人が取るべき方策は？



◆検討

- ・審査開始～口頭審理の招集、開催までの実態調査
- ・事例研究



知財管理誌に掲載予定

国際第2委員会 第3小委員会

「PCT—PPHの利用実態の調査・研究」

◆内容

- ・PCT-PPHは、新興国を含むグローバルな権利取得にどの程度有効か？
⇒定量的にデータを把握し、PCT実務強化・制度改善提言に活かす。

◆調査・分析

- ・中国、米国、日本へPCT-PPHした場合の、一発登録率、O.A.内容、申請却下等。
- ・中国・米国・日本との間で、PCT-PPHの効果の比較・分析。

PCT-PPHは、使える？使い易い？
知財管理誌に掲載予定！

